

第85回 北海道地方交通審議会船員部会 議事概要

開催年月日 平成27年10月23日(金)

開催場所 北海道運輸局6F会議室

□議 題□

1. 審議事項

なし

2. 報告事項

(1)船員の特定最低賃金の改正の決定に関し、関係船員及び関係使用者の意見聴取に関する
公示結果について

(2)管内船員職業安定業務取扱状況(平成27年9月分)について

(3)離職四法に基づく減船離職船員現況調べについて

(4)離職四法に基づく求職者手帳発給数及び支給実績について

3. その他

情報交換

□議事概要□

1. 事務局より、船員の特定最低賃金の改正の決定に関し、関係船員及び関係使用者の意見聴取に関する公示結果について、意見がなかった旨説明があった。平成27年9月分の管内船員職業安定業務取扱状況について報告があり、労働者委員より在職中に求職する場合は、未済求職者数には入らないものと思っていたとの発言があり、在職中であっても求職登録することは可能で、ただし、非公開を希望するケースが多くキオスク等ネットでは見られないようになっていたとの回答があった。労働者委員より漁船職員希望者の年齢は、との質問があり、事務局より回答があった。労働者委員より「さけます流し網」に関し、漁臨法の適用範囲についての質問があった。事務局より、減船により離職者が出た場合には、何らかの運用が考えられるが、漁臨法により規定する適用範囲について説明があった。公益委員より、商船その他の有資格者の求人が多いが、好景気によるものか、季節的なものかとの質問があり、事務局より、曳き船関係の常用の求人であり季節的なものではないとの回答があった。公益委員より漁業については資格を持った人は不足しているのかとの質問があり、事務局より今月の傾向では、資格者よりも部員の求人が多いとの回答があった。労働者委員より、商船の分類でその他にはどのような船種があるのかとの質問があり、事務局より、作業船や、曳き船などが入り、貨物船には、一般貨物の他タンカーや、砂利運搬船、セメント船も含まれるとの回答があった。使用者委員より、在職中に求職する場合も有効求職者数にカウントするのであれば、失業率はどう見ればよいのかとの質問があり、事務局より、報告している数字は、有効求人倍率等の数字であり、失業率はまた別の数字であるとの回答があった。公益委員より、船員として在職中に求職された方についての情報を、次回以降知りたいとの要望があった。

2. 情報交換に入り、労働者委員より、今年も10月22日から11月12日の予定で、フェリーにより自衛隊員(部隊)輸送が行われるとの報告があった。労働者委員より海員組合の全国大会を11月10～12日まで新潟県で開催するとの報告があった。公益委員よりTPPの関係で漁業への影響はとの質問があり、労働者委員より、すり身製品についての影響が考えられるとの回答があった。

3. 次回の船員部会は平成27年11月27日(金)13時30分より開催することを確認した。

(以上)